

2007年4月プレスリリース

山口情報芸術センター(YCAM)presents

娘の死に直面し、悩み苦しむ年老いた男と女。

過去と現在を行き来しながら、死をみつめ、生を問う—



撮影：野口 博

演劇公演

## 『死のバリエーション』

作　　：ヨン・フォッセ

演出・照明：アントワーヌ・コーベ

出　　演：長塚京三

瀬川 亮

笠木 誠

伊勢佳世

杵鞭麻衣

高橋恵子

2007年6月2日(土) 19:00 開演

3日(日) 14:00 開演

山口情報芸術センター スタジオA

主　　催：財団法人山口市文化振興財団

著作権代理：(株)フランス著作権事務所

企画制作：山口情報芸術センター



山口情報芸術センターでは、6月2日(土)、3日(日)の2日間に渡って、ヨン・フォッセ作、アントワーヌ・コーベ演出による『死のバリエーション』を上演します。

これは、ヨッシー・ヴィーラー演出『四谷怪談』(2005年)、ドイツ座『エミリア・ガロッティ』(2006年)そしてロベール・ルパージュ作・演出『アンデルセン・プロジェクト』(2006年)に続く、世界的に評価の高い戯曲家・演出家・振付家による舞台作品を紹介するシリーズ第4回目になります。

今回は、ヨーロッパを拠点に国際的に活躍する作家と演出家の舞台作品に、日本からテレビドラマや映画でお馴染みの長塚京三、高橋恵子らの豪華キャストが出演します。

## ■ ノルウェーの鬼才ヨン・フォッセと、フランスで注目の演出家アントワーヌ・コーベのコラボレーション作品に、実力派俳優 長塚京三、高橋恵子らが挑む。

“イプセンの再来” “21世紀のベケット”と賞賛を浴びるノルウェーを代表する作家ヨン・フォッセ。小説、詩、戯曲、児童文学などを手掛け、その作品の多くはドイツ、フランスなど各国で翻訳、または上演されています。その作風は、ノルウェーの土地や気候にも影響を受け、複雑に入り組んだ海岸線に断崖が迫るフィヨルドの世界に生きる人々の、この極限の自然ともいえる“原風景”を前に、人間の小ささと無力さ、そして身近に存在する死への感覚が根底をなしているとも評されます。また、演出のアントワーヌ・コーベは、シェイクスピアから現代物まで幅広い作品をこなし、戯曲の音楽性を重視した斬新な作品作りでフランスを拠点に国内外で高い評価を得ています。

そのヨーロッパを中心に活躍する話題の作家と演出家に立ち向かうのは、テレビ、映画、舞台で活躍する俳優陣。篠田正浩監督『瀬戸内ムーンライトセレナーデ』(1998年)で日本アカデミー賞主演男優賞を受賞した長塚京三に、蜷川幸雄演出『ハムレット』(藤原竜也主演2003年)や『山ほととぎすほしいまま』(2003年)等で、第3回朝日舞台芸術賞秋元松代賞を受賞した高橋恵子といった実力と人気を誇る2人。さらに、NHK朝の連続テレビ小説『ファイト』(2005年)の瀬川亮、『ミス・サイゴン』などミュージカルを中心に活躍する<sup>きぬはら</sup>杵鞭麻衣、『四谷怪談』(2005年)で来山した笠木誠、『見よ、飛行機の高く飛べるを』(2004年)でもアントワーヌ・コーベの演出に挑んだ伊勢佳世が加わり、多彩なキャストでお送りします。



左から 伊勢佳世、高橋恵子、  
長塚京三、瀬川 亮  
写真 野口博

長塚京三と高橋恵子の年老いた夫婦が、娘の死を乗り越えることができず、悩み、苦しみ、娘と幸せだった時期の記憶を呼び起こす一、生と死、過去と現在を行き来しながら時空を超えて、人間の普遍の魂を“演劇”というダイナミズムで検証していきます。

ぜひこの機会に、本公演をご紹介しますよう、どうぞよろしく願いいたします。

## ストーリー

娘の死を受け入れることができない年とった“男”（長塚京三）と“女”（高橋恵子）。2人の魂は現在を越え、輝いていた昔、純粋さと希望にあふれていた頃に戻る。

“娘”を産んだあの時、育てた日々、可愛かった、優しくかった娘を記憶の中で愛しみ、そこに確実な生を実感する。しかし“若かった男”（瀬川 亮）と“若かった女”（伊勢佳世）の心が離れていくとともに、2人の間で心を痛めた“娘”（杵鞭麻衣）は次第に心を閉ざす。架空の“友”（笠木 誠）だけと話をする“娘”は、遂にその“友”に導かれるように、海へと入っていく。

今日も“女”は、見捨てられた悲しみ、恨みを“男”にぶつける。“男”はなすすべもなく、ただそこにいる。

## 作・演出家プロフィール

### ◎ヨン・フォッセ Jon Fosse (作)

1959 年生まれ。ノルウェーを代表する作家。小説、詩、戯曲、児童文学、エッセイなど多数。1990 年代はじめより戯曲を書き始める。『名前』（1995 年）『だれか、来る』（1996 年）『死のバリエーション』（2001 年）などその作品の多くは、ドイツ、フランスなどヨーロッパ各国で翻訳、上演され、“イプセンの再来”“21 世紀のベケット”と賞賛を浴びている。日本では、財団法人地域創造の公共ホール演劇制作ネットワーク事業にて、2004 年に太田省吾演出により『だれか、来る』を全国 8 箇所で開催。また三浦 基の演出で『名前』『眠れ よい子よ』『ある夏の一日』が紹介された。イプセン演劇賞(1996 年、ノルウェー)など受賞多数。

### ◎アントワヌ・コーベ Antoine Caubet (演出)

1958 年フランス生まれ。演出家、俳優。様々な劇場のレジデンス演出家を経て、ソフォクレス、シェイクスピア、チャーホフ、ブレヒト、ジェームズ・ジョイス、ペーター・ハントケ、トマス・ベルンハルト、グレゴリー・モトンなど、古典から同時代まで幅広い作品の演出を手がける。

2002 年、鐘下辰男作『食いと瞋りいかと愚かさ』のドラマ・リーディングの演出(テアトル・ウヴェール、パリ)で初めて日本の戯曲と出会う。2004 年、世田谷パブリックシアター主催公演、永井 愛作『見よ、飛行機の高く飛べるを』を演出、戯曲の音楽性を重視したシンプルかつ刺激的な演出は、新たな永井作品の一面を見出したとして、高い評価を得た。最近の主な演出作品に、フランスの新鋭劇作家ジャン＝ポール・ケイネック作『ラ・ミ・タン』（2004 年）、ブレヒト作『カラールおかみさんの鉄砲』（2005 年）など。

## 出演者プロフィール

### ◎長塚京三 ながつか きょうぞう

1945 年生まれ。東京都出身。フランス留学中に映画『パリの中国人』で俳優デビュー。以後数々の映画、TVドラマ、舞台に出演。映画では、ベルリン映画祭銀熊賞受賞作『絵の中のぼくの村』（東 陽一監督 1996 年）出演のほか、『ザ・中学教師』（平山秀幸監督 1992 年）で毎日映画コンクール主演男優賞、高崎映画祭主演男優賞を受賞。『瀬戸内ムーンライトセレナーデ』（篠田正浩監督 1998 年）では日本アカデミー賞主演男優賞を受賞。また数多くのTVドラマに出演。舞台は 1994 年『オレアナ』で読売演劇大賞優秀男優賞を受賞ほか話題作に多数出演、真の実力派俳優として多方面で活躍中。

◎瀬川 亮 せがわ りょう

1978 年生まれ。神奈川県出身。劇団第三舞台公演に衝撃を受け、衝動的に入団。下北沢の小劇場に出演中スカウトされ『超星神 グランセイザー』(TX 2004 年)のオーディションに合格し主役に抜擢される。翌 2005 年朝の連続テレビ小説『ファイト』(NHK)に準主役で出演、2007 年の大河ドラマ『風林火山』(NHK)にも出演が決定している。舞台は『トランス』(鴻上尚史演出 2005 年)『ラブ ハンドル』(板垣恭一演出 2006 年)などに出演。ほか映画、CM、ラジオ出演も多く、今後の活躍が期待される。

◎笠木 誠 かさき まこと

1970 年生まれ。大阪府出身。1991 年より川村毅のカンパニーに所属。劇団“第三エロチカ”時代、中心俳優として活躍。2002 年ティーファクトリーとなってからも、『アーカイヴス』『クリオネ』『フクロウの賭け』等全作品に出演している。『ハムレットクローン』では主演・泥棒役にてドイツツアー、ブラジルツアーに招かれた。他、糸あやつり人形結城座『くぐつ草紙』、世田谷パブリックシアター主催『見よ、飛行機の高く飛べるを』(アントワヌ・コーベ演出)、日独共同企画『四谷怪談』(ヨッシー・ヴィーラー演出・欧州ツアー)などに出演。2008 年 3 月世田谷パブリックシアター・ティーファクトリー提携公演、川村毅新作『ワニの涙(仮題) -神なき国の夜-』出演予定。

◎伊勢佳世 いせ かよ

1981 年生まれ。神奈川県出身。法政大学人間環境学部卒業。俳優座演技研究所を経て 2002 年俳優座入団。俳優座公演では 2002 年『友達』、2003 年『薔薇の館』、2004 年『ザ・ダイニングルーム』、2005 年『湖の秋』に出演。外部出演として 2004 年『見よ、飛行機の高く飛べるを』(アントワヌ・コーベ演出)、2005 年『ソウル市民』(F. フィスバック演出)に出演。着実に活動の場を広げている。

◎杵鞭麻衣 きねむち まい

1975 年生まれ。埼玉県出身。日本大学芸術学部で声楽を学ぶ。その後ロンドンに渡り、ドラマスクールのミュージカルコースに単身留学。またフランスパリにて、唯一の日本人キャストとしてミュージカル出演も果たす。2003 年、東宝『レ・ミゼラブル』公演の出演を機に 2004 年、東宝『ミス・サイゴン』のオーディションで娼婦“ジジ”役に合格。

◎高橋恵子 たかはし けいこ

1970 年に映画『高校生ブルース』(大映)で主演デビュー。同年『おさな妻』でゴールデンアロー賞新人賞受賞。以降、映画、テレビドラマ、CM に数多く出演。1997 年『近松心中物語～それは恋～』(蜷川幸雄演出)から舞台へ活動の場を広げる。最近の舞台作品に『藪原検校』(木村光一演出 2003 年)、『ハムレット』(蜷川幸雄演出 2003 年)、『初蕾』(石井ふく子演出 2004 年)、『子午線の祀り』(観世榮夫演出 2004 年)など。2003 年第 10 回読売演劇大賞優秀女優賞、2004 年第 3 回朝日舞台芸術賞秋元松代賞受賞。

## 概要

### 演劇公演 『死のバリエーション』

作 　　： ヨン・フォッセ

演出・照明：アントワーン・コーベ

出 　　演：長塚京三、瀬川 亮、笠木 誠、伊勢佳世、杵鞭麻衣、高橋恵子

日 　　時：2007年6月2日(土) 19:00 開演、3日(日) 14:00 開演(30分前開場)

※終演後、ポストトークを行います。

会 　　場：山口情報芸術センター スタジオA

〒753-0075 山口市中園町7-7 TEL:083-901-2222 <http://www.ycam.jp>

料 　　金：全席指定 一般 4,500円 any 会員/特別割引 4,200円

チケット情報：any 会員先行予約：4月7日(土)～

※先行予約ならびに会員割引でのチケットの購入をご利用いただくには先行予約前日までに any 会員への入会手続き(年会費のお支払)が必要です。お電話で入会をお申出の場合、10日前までにご連絡下さい。

※4月7日は、インターネットと電話のみ受付。窓口販売は翌日から。

一般発売：4月14日(土)～

予約方法(any 会員、一般とも共通)：

インターネット予約<要事前登録>

<http://www.ycam.jp>

電話予約(山口市文化振興財団チケットインフォメーション)

TEL.083-920-6111 (受付時間10:00～19:00 火曜休館)

※インターネットまたは電話予約の場合、全国のセブンイレブンで代金引換が可能です。山口情報芸術センターチケットカウンターで直接予約、購入が可能です。

#### ■特別割引について

特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

#### ■託児サービス 対象：0才(6ヶ月)以上 託児時間：開演の30分前から終演後30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：5月27日(土)までにチケットインフォメーション(TEL:083-920-6111)までお申し込みください。

未就学児のご入場はご遠慮ください。

主 　　催：財団法人山口市文化振興財団

著作権代理：(株)フランス著作権事務所

企 画 制 作：山口情報芸術センター

お問い合わせ：山口情報芸術センター 広報：小滝

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7 TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216

E-mail: [information@ycam.jp](mailto:information@ycam.jp) <http://www.ycam.jp>

※プレス用写真、映像をご入用の方は上記までご連絡ください。

#### <山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

##### ■JR新山口駅から

- ・JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分/タクシー5分
- ・JR山口線山口駅下車、徒歩20分/バス10分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5分
- ・防長バス/JRバス25分、中園町下車

##### ■自動車利用

- ・山陽自動車道で防府東ICから30分/九州・中国自動車道で小郡ICから15分